

愛犬と安全・健康・快適に暮らす 住まいの工夫

大切な家族だから、住まいの建て替えやリフォームの際には、愛犬の安全・健康・快適性にも配慮したいものです。そこで、愛犬もゴキゲンの理想の住まいを手に入れたご家族に、その工夫をお聞きしました。

お宅訪問シリーズ
vol.03
ONE
HOUSE



2階へ上がるのを制限する柵を設置。



僕のお家も新築だよ！



床、壁、ドア全て傷・汚れに強いシストSを採用。



キッチン入口の廊下にゲートを設置。奥にあるおばあちゃんの部屋へのいたずら防止にも一役。



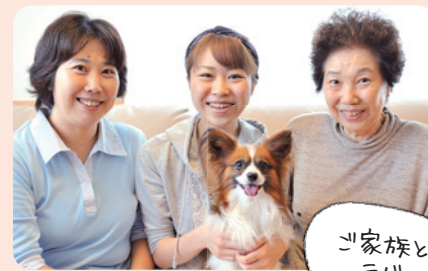
リビングはラビの犬のお気に入り。

ワンパクなラビにもハラハラ無用。 大満足の新居になりました。

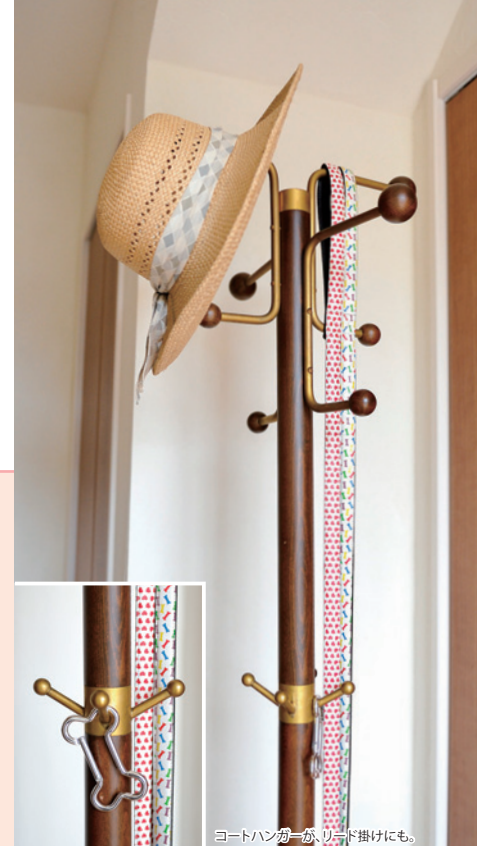
ラビがわが家のファミリーになったのは5年前。高校生だった娘が、けなげにアルバイトで貯めたお金を出して手に入れたのです。でも、いじらしかったのはそこまで(笑)。お散歩も必ず行くからと固く誓った言葉はどこへやら、今はもっぱら私が散歩係なんです。娘に小言は言うものの、うれしそうにリードを引っ張るラビの姿を見ると、ほんと可愛くて。今年の春、わが家を建て替えるときも、ラビのことはしっかり考えました。まだ5歳ですから、元気いっぱいでしょう。階段があれば大喜びで駆け上がるのは間違いなし。でも勢い余ってころがり落ちちゃうんじゃないかと、料理中にキッチンに入ってきて、熱湯

がかかってしまうような事故でもあったら大変と、まるで小さな子どものいる家族のようにあれこれ話し合ったものです。結局、工夫したのはラビの事故防止用のゲートを家の中に設置すること。階段の昇り口には柵を掛け、キッチン入り口の廊下にもゲートを設置。このゲートはおばあちゃんの部屋に行くのも制限できます。おかげでラビの心配をすることなく料理に専念。通常はロックをして使用するものですが、うちではゴムを使って自動で閉まるように工夫してます。大切な家族の一員だからこそ、生活空間の中で共有する時間とスペースをしっかりと区別しないかね。そうそう、あと建て替えていけばうれし

かったのは、床が滑りにくくて傷のつきにくい「シストS+ワン」にしたこと。腰壁も「シストS」にしたので、ワンパクなラビが走り回っても安心。少しぐらいおしっこしてもみないから、こちらも神経質にラビを怒ることもなくなりました。自慢の新居で、元気いっぱいラビと楽しい暮らしを送りたいものです。



ご家族とラビ



コートハンガーが、リード掛けにも。



コンセントにカバーをつけて、感電防止にひと工夫。



マルタリとアビィそっくりのクッション。



マルタリもおうちが大好き！



滑りにくい床にゴキゲンのアビィ。



オリジナルのフックボード。

忘れがちなカートの収納場所もしっかり確保。

外観やデザインも大切だけど、 やっぱり安心で快適な暮らしがいちばん。

昨年10月、長年住み慣れた家を取り壊し、建て替えました。その際、第一に考えたのは間取りですが、次に優先して考えたのは「床材」です。だってわが家には大切な娘と息子がいるんですもの。娘はマルタリ、息子はアビィといひます。でもほんとは二匹は親子なんですけどね。この子たちの前に飼っていたミニチュア



奥様とアビィ&マルタリ

シュナウザーのメロディーがほんとに元気な子で、いつもフローリングと畳の上を駆け廻るため、フローリングは滑るし畳は傷つくため、結局じゅうたんを敷いていたんです。じゅうたんに付く抜け毛の掃除の大変だったこと。衛生的にも良くないでしょ。だから新居では対策を考えなければと、床材に「シストS+ワン」を採用しました。傷がつきにくいことも大事だけど、マルタリとアビィにとって滑りにくい床は、膝の健康を考えるとすごく大切なことですからね。あとは私たち夫婦のことを考え、バリアフリーに。段差をなくすことはもちろん、車イスでも部屋の行き来がしやすい「引き戸」を採用しました。これってマルタリとアビィに

とってもいいんですよ。以前、知人のワンちゃんがドアで足を挟んで大けがをしたという話を聞いたことがあって。尾っぽを挟んで骨折した子もいるんですよ。愛犬なら一度はヒヤッとしたことありますよね。だから引き戸はけっこうポイント高かったですね。そうそうマルタリったら、以前床についていたコンセントに爪を挟んで感電したこともあるんです！幸いケガがなくてよかったけど、新しい家では壁のコンセントにもカバーをつけました。新築の家って見た目だけでなく、やっぱり家族みんなが安心して快適に暮らせることが何より大切。わが家の愛しい子どもたちの健やかな暮らしを、これからも親として見守っていくつもりです。